

令和5年12月 6日

大山崎町長 前川 光 様

大山崎町議会  
複合施設特別委員長 井上 博明

町議会・複合施設特別委員会からの提言について

日頃より町政発展のためにご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、当町議会の複合施設特別委員会では、本年6月6日設置から約6ヶ月に渡って調査研究活動を行い、その取りまとめを終えました。

つきましては、別添のとおり、町議会・複合施設特別委員会から提言しますのでご検討ください。

## 複合施設特別委員会の提言について

### 1 委員会設置の目的

中央公民館の再整備による複合施設は、町民の皆さんの活動拠点等としての期待が高まっている。複数の公共施設が統合された複合施設の整備を図る上で、これに特化した委員会を設置して、整備事業に係る事業内容、進捗状況、及び財政状況などの調査研究を行うためである。

### 2 提言

本委員会では、町から提出のあった基本設計に対し「改善を要する点」、「住民や利用者の声」、「意見」を列挙し確認を行った。その後、2つの作業チームに分かれて行政に対する質疑や住民の声・意見の聞き取りを行い調査研究を重ねてきた。

こうした経過を踏まえ、基本設計に対する改善点、住民の利用者の声・意見を下記のとおり列挙するとともに、別添のとおり各作業チームからの提言書により、本委員会から提言する。

#### 記

#### ○基本設計に対する改善を要する点（住民から届いた声を含む。）

- ・茶室に使える10畳以上の和室が欲しい
- ・長寿苑が無くなり駐車場になることを知らない（周知不足）
- ・ホールは2階より1階がよい（防災機能として）
- ・駐車場が使い難い（回転場、台数不足）
- ・保健センターは2階（コロナ対策としてエレベーターは2台必要）
- ・図書館1階子供賑やか、2階静かなスペース
- ・1階は高齢者、子供、弱者が集う場所が良い
- ・ホールに防音設備が欲しい（中学校の吹奏楽練習など）
- ・公民館利用は有料、長寿苑利用は無料（有料、無料スペースが混在する課題）
- ・阪急大山崎駅交番の移転地 シビックゾーンに入れるか
- ・公民館と図書館は分けるべき
- ・複合化施設以外の町の課題も一緒に検討すべきでは（放課後の児童の居場所）
- ・シビックゾーンと今の複合化は分けて進める（跡地の検討）
- ・有利な起償（の活用）に重きを置きすぎているのではないか
- ・補助金（長寿苑、保健センター撤去以外の有利な起償）
- ・保育所待機児童対策として1園民営化して入れる

## 複合施設についての提言 Aチーム

### 1, 町が目指す「新たなまちづくりの拠点施設」にむけて住民とともに練り上げた「町策定基本設計」を支持する

町策定の基本設計は、ワークショップ(\*)やパブリックコメント、また住民代表である議員を通じてなど、直接間接に寄せられた住民の意見や、各機能担当職員の意見をつみ上げて策定されたものであると認識している。その基本目標である「ひとりにもみんなにも居場所を増やす」「図書がつなぐまちづくり活動」には、住民のみなさんが新たな施設に求めることが示されており、本年3月6日に開催された「ふれあいミーティング」や、その後現在まで、私たちが聞き取った声を踏まえても、住民の皆さんから一定の評価と期待を得ていると考える。

(\*ワークショップのメンバーは町社会教育委員、町都市計画審議委員、町PTA連絡協議会役員、町公民館サークル連絡協議会役員、町長寿会連合会役員、子育て支援サークル主宰者、ならびに公募による10代~70代の住民という広範な25人)

### 2, 「基本計画」策定にむけての議論のつみ上げを覆さないこと

1でも触れたが、今回の基本設計に至るまでには、3年間の議論があった。その議論のつみ上げを町行政自らが大きく覆すことはあってはならないと考える。議会の議論においても2022年11月発表の「基本計画」についてまでは特段反対意見も示されていなかったことを踏まえて、「基本計画」以前に戻ることを求めないよう求める。

### 3, 「早く整備してほしい」との住民の声に応えることが重要

住民のみなさんからは「ホールがずっと使えないまま。どうなっているのか」「高齢になり、エレベーターもなくバリアフリーでないので使いづらい。元気なうちに早く改築してほしい」「雨漏りする箇所が広がっている。危険な状態ではないのか」などの声が届いている。

「一刻も早く改善してほしい。いつまで待たせるのか」が多くの住民の思いだと考える。早期の建て替え実施のためには、町策定の基本設計を活かすことが確実な方法である。改めてゼロから基本設計を行えば完成時期が一層遅れてしまう。そのような事態は避けるべきである。

### 4, 設計についての提案、要望事項(実施設計にむけて)

- ①長年にわたり利用することを踏まえてフレキシブルな活用やリフォームがしやすい構造とする。
- ②「脱炭素のまち」にふさわしく、断熱性を高めるなど省エネ効果のある構造にする。また、蓄電池型太陽光パネルの設置など再生可能エネルギーの活用を行うようにする。(国の補助金も活用可能)
- ③今般の資材、労務単価の値上がりなどで、建設費が当初見込みを上回ることが予測される。建設にかかる財政計画について、適宜、議会、住民に説明し、理解を求めること。
- ④私たちは、複合化により、住民のみなさんの活動が縮小されることなく従来どおり続けられることや各機能のさらなる充実を求めてきた。この間、住民の皆さんから、様々な要望が示されている。(和室に茶道のできる設備を、ホールステージの広さや緞帳設置などについて、サークル活動に活用する道具の収納スペースの確保、防音仕様、バリアフリー設備やユニバーサルデザイン導入、フリースペースにカフェを……など) これらの要望を最大限取り入れる努力をすると同時に、引き続き、住民の声、専門家の意見を聞く機会を設けて、使いやすく、喜ばれる施設とすること。そのためにも、検討経過について、きめ細かに、議会、住民に情報提供すること。

令和5年12月5日

大山崎町長 殿

大山崎町議会  
複合施設特別委員会 B チーム

## 公民館複合化計画への提言

中央公民館を長寿苑と保健センターを含めた複合施設とする事業は、令和5年3月議会において複合化施設実施設計予算が上程された。

しかし、基本設計における運用経費の計算が無く、パブリックコメントを受けた基本構想を急遽変更するなど基本設計を承認できないので、実施設計を止め、議会として複合施設特別委員会 B チームとして協議を重ねた。

さらに、6月に提出された基本設計の詳細で施設建設費が23億円、備品・外構3億7千万円、そして、解体費が3億8千万円、合計総額が30億5千万円の大事業になりかねないことが確認できた。

全国的に人口減少が進む中、町の将来には小学校の建て替えも必要であり適正な施設の規模、子や孫への負担を考え建設費を抑える事を検討すべきである。

## < 提 言 >

複合施設建設にあたって大山崎町の将来の人口ビジョンに最適規模の施設を建設する事。

- 1 具体的数値は総床面積3300㎡を目途とする。
- 2 利便性向上には
  - ① 駐車場活用法として入口と出口を分けて通り抜け方式。
  - ② ホールと子育て支援の施設は1階に設置。
  - ③ 図書機能の向上。
- 3 適正規模検討
  - ① 長寿苑の複合化を見直す、有料施設と無料施設の混在を解決するためにも現状の建物が使える間は使用を続け、人口ビジョン・利用者の動向を踏まえる。
  - ② 質実剛健な建物とし建設費と管理費を縮小する。
  - ③ 昨今の物価高騰も踏まえ、当初の予算額20億円(解体費を除く)を目途に費用が納まるように再検討する。

以上